

■団体ヒアリングのまとめ ～各施策における課題・提案等～

基本方針1 安全で快適な暮らしができるまちづくり

基本施策項目	まちづくりの課題・提案等
<p>1. 防災・消防・救急</p>	<p>≪防災≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策も含めた危機管理体制の強化と事前対策の検討。(川越町身体障害者福社会) ・災害時の外国人への対応が問題になるため、日常的な外国人との交流の場の確保が必要。(川越町ボランティア連絡協議会) ・避難行動要支援者の名簿を作成しているが個別避難計画ができていないため活用できない。(民生・児童委員協議会) ・ゲリラ豪雨による河川の氾濫の危険性があるため、高齢者が歩いて身近な場所に避難できる場の確保と避難所の大型化が必要。(区長会) ・高齢化の影響で災害時に地域で活躍できる人が減少しているため、新たな地域の担い手の確保が必要。(区長会) ・川越町では津波だけではなく、地震による河川の決壊が危惧されており、朝明川をコンクリートで固めるなど、堤防の補強が必要。(消防団) ・集中豪雨では100 mm/hのケースも増えてきており、現状のポンプ能力(70 mm/h)では対応できないため、排水ポンプの改善、排水路や河川の改良工事も必要。(消防団)
<p>2. 交通安全・防犯</p>	<p>≪交通安全≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、通学路のカラー舗装、横断歩道の整備・維持管理の実施。(交通安全協会) ・住宅が増え、農道を通る車が増えたため、狭い道路での子どもや高齢者への交通安全対策の強化が必要。(区長会) ・地区内の道路への大型車両の交通規制、一方通行などを考えていくことが必要。(区長会) ・子どもの通学時に子どもの安全のために見守り活動をしているが、高齢化で人材が不足しているため、ガードマンを雇うなど、経費をかけてでも見守る人を確保することが必要。(区長会)

基本施策項目	まちづくりの課題・提案等
	<ul style="list-style-type: none"> ・一旦停止をしない車、速度制限を守らなら車が増え、事故も多くなっているため、交通規則の強化が必要。 (区長会) ≪防犯≫ ・犯罪から子ども達を守るため、通学路、公園の安全の確保、防犯カメラの増設が必要。(区長会) ・防犯灯の設置、河川の整備など、地域の安全・安心を高める取組みが必要。(朝明商工会青年部)
3. 河川・海岸	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の健康づくりに向け、河川沿いの堤防を散策路として整備するなど、散歩しやすい環境づくりが必要。 (川越町老人クラブ連合会)
4. 上下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅開発による農地の減少で保水能力が低下しているため、排水路の整備、河川の改良が必要。(区長会)
5. 環境共生	<ul style="list-style-type: none"> ≪ごみ≫ ・ごみの分別の必要性を住民に説明する、粗大ごみのごみ出しのルール徹底、高齢者向けの個別回収、粗大ごみの有料化などの検討が必要。(ごみ対策協議会) ・ごみの減量化に向けて、ごみ処理にかかる経費を示し、減量化の必要性をPRすること。分別の種類を増やして有価物を回収し、その売却益を地域に還元する仕組み作ることが必要。(ごみ対策協議会) ・参加が多いごみゼロ運動を活用し、子どもの参加も促しながら、ごみの減量化、分別につなげる取組みを工夫して実施することが必要。(ごみ対策協議会) ・ごみステーションでの分別、回収日のルール、粗大ごみの出し方のルール徹底、不法投棄の対策が必要。 (区長会) ≪不法投棄≫ ・朝明川右岸堤防は不法投棄が多く、美観を損ねているため、県と町が連携して未然防止を図ることが必要。 (川越町老人クラブ連合会)

基本方針 2 便利で活気ある暮らしができるまちづくり

基本施策項目	まちづくりの課題・提案等
1. 市街地・住環境	<p>《市街地・土地利用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みえ川越 I C は広域交通の結節点であり、高速バスの拠点として、無料駐車場、飲食、土産物販売を行うバスの駅として整備してはどうか。(川越町老人クラブ連合会) <p>《市街地・住環境・空き家》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は所有者が近くにいない空き家が増えるため、空き家対策の強化が必要。(区長会) <p>《公園・緑地》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役場周辺の農地に総合多目的広場を整備し、緊急時にはヘリポートとしても利用できるようにする。(区長会)
2. 道路・交通	<p>《道路》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の一体化に向け、役場近くを通る南北道路の整備。(ごみ対策協議会) ・生活道路が狭いこと、一旦停止線が消えていることなどの生活道路の改良が必要。(区長会) ・歩道が無く、歩行者も自転車も電動車椅子も車も同じ車道を通行することで車を運転する際に危険を感じることが多いため、改善が必要。(区長会) ・県道 401 号線は国道 23 号のう回路で交通量も多いため、速度制限の強化が必要。(区長会) ・10 年、20 年先の将来のことを考えると、東西南北 1 k m 間隔で幅員 8 m の道路を強制的に整備し、消防車や救急車が通行できるようにしていくことが必要。(区長会) <p>《交通》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者が各種活動に参加しやすいような移動手段の確保。(川越町身体障害者福祉会) ・運転できなくなる高齢者の移動手段の確保。(ボランティア連絡協議会)(交通安全協会) ・高齢者は亀崎地区の堤防の上の停留所に行くことができないため、車両を小型化し、狭い道路でも運行できるように改善。(民生・児童委員協議会) ・免許返納者が増えるため、ふれあいバスを小型ハイエースの車両にして、運行本数も増やし、電車の時間に合わせたダイヤを組むなどの改善が必要。(区長会)

基本施策項目	まちづくりの課題・提案等
	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの1路線のルートが長すぎるため、役場、スーパー、駅まで短時間で行けるように路線の改善。(民生・児童委員協議会) ・移動手段がないと免許返納も進まないため、ふれあいバスのバス停の位置、便数の改善などにより利便性を高めていくことが必要。(川越町社会福祉協議会) ・公共交通のきめ細やかなルート設定、シニアカーのリースなどを進めることが必要。(交通安全協会)
3. 産業	<p>《農業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川越町の農地は狭く、住宅と入り組んだ農地もあり、オペレーターが耕作しにくく、赤字になるため、積極的に耕作したいと考えていない。そのため、今後は相続なども含め、農地の維持が困難になる。農地・水・環境事業のような事業で、農家と非農家が交流し、一緒に環境整備などに取り組むことが必要。(JAみえきた) ・役場前の農地をコスモス畑にしたコスモス祭りを開催してはどうか。(JAみえきた) <p>《商工業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの青年団が飲食店に集まろうとすると、町内に1か所しか入れる所がない。(青年団) ・川越町の活性化には、観光(地域資源の磨き上げ)やB級グルメの掘り起こしなど、飲食につながるイベントの実施が必要。(朝明商工会青年部) ・事業承継、起業支援、BCPの策定、事業所紹介などを進めている。今後は空いた店舗、倉庫、工場などの情報を集約し、起業や企業進出を検討している事業者への紹介を進める。また、未来技術の導入も柔軟に対応していく。(朝明商工会) ・コロナウイルスによる飲食や旅行代理店、製造業への支援、海拔ゼロメートル地帯としての弱み・リスクを回避し、事業所の操業環境を高めることが必要。(朝明商工会)

基本方針3 支え合いで安心な暮らしができるまちづくり

基本施策項目	まちづくりの課題・提案等
1. 保健・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢の段階に応じた介護予防や健康づくりなどの取組を老人クラブと連携して進めることが必要。(川越町老人クラブ連合会) ・「きらきら体操」がもっと身近な健康体操になるよう普及に力を入れることが必要。(健康かわごえ推進協議会)
2. 子育て支援	<p>《子育て支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育の対応が不十分のため、近い場所に受入れ可能な医療機関を確保。何かあった時に子どもを預けられるセーフティーネットの提供。(NPO法人子育てサポートほっとまむ) ・子育て支援センターからの情報を様々な形で発信しているが、不安を抱えている人に伝わり、実際の利用につながるようにしていくことが必要。妊婦期からアプローチして利用につなげていく。(NPO法人子育てサポートほっとまむ) <p>《子どもの居場所づくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な問題やネグレクトで学童保育に行けない子ども達に対する居場所づくりが必要。子ども食堂を運営したいが、保健所の制約などが多いためできない。(ボランティア連絡協議会) ・学童保育の人材(早朝・延長時の補助員)確保が課題であり、学校の非常勤の先生の派遣などの人材のサポートが必要。(社会福祉法人日の本福祉会) ・学童保育が学校から離れているため移動の負担が大きい。そのため学校の空き教室など学校内設置が必要。(社会福祉法人日の本福祉会) <p>《ひとり親》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町ではひとり親支援策が手厚い反面、ひとり親世帯が集まり、児童の貧困率が相対的に高くなっているため、今後の支援策内容を検討することが必要。(健康かわごえ推進協議会)
3. 地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・防犯、転入者や若い人への情報伝達やつながりが課題。(川越町社会福祉協議会) ・地域福祉活動計画を全地地区(策定5地区、1地区策定中)に広げていきたいがマンパワーが不足し、地区の拡大に時間がかかっているため、行政との協力体制で推進することが必要。(川越町社会福祉協議会)

基本施策項目	まちづくりの課題・提案等
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉協力員の増員に向け、町民が様々な形で活動に関わる機会をつくる必要がある。(川越町社会福祉協議会)
4. 高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の日常生活を支援する「ちょこっとボランティア」のメンバーの高齢化、固定化のため、子どもの時からのボランティア意識を高めるための体験の場づくりが必要。(川越町ボランティア連絡協議会) ・ボランティアハウス「ささえあい」の建物の老朽化、建物や駐車場が狭いなど改善が必要。(川越町ボランティア連絡協議会) ・今後、高齢者のごみ出しと移動が課題になる。(川越町社会福祉協議会) ・大手企業の役員退職者や引退した経営者は孤立しがちであり、そのような人達の居場所づくりが必要。(川越町老人クラブ連合会) ・高齢者の元気づくりのため、高齢者の移動支援や公共施設の利用優遇などを検討することが必要。(川越町老人クラブ連合会) ・介護予防教室をはじめ、各種講座等への参加者のほとんどが女性であり、高齢男性の閉じこもりが心配され、居場所づくりなどが必要。(健康かわごえ推進協議会)
5. 障害者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・町職員が共生社会の理解を深めていく必要があり、障害者手帳を持っている人だけでなく、様々な困難を抱えている人を支援する仕組みが必要。例えば町独自の障害者認定制度。(川越町身体障害者福祉会) ・障害者相談員の確保による相談・支援の強化。(川越町身体障害者福祉会) ・障害者に給料を支払うことができる仕事が少ないため、仕事を開拓するために企業への働きかけが必要。(川越町社会福祉協議会)

基本方針4 人を育み心豊かな暮らしができるまちづくり

<p>1. 学校教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の建て替え時に、自校調理の給食の実現。(NPO法人子育てサポートほっとまむ) ・ 学校教育への支援が手厚く、評判も良いため、より一層の充実が必要。(交通安全協会)
<p>2. 生涯学習</p>	<p>《生涯学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習講座や介護予防教室の参加者のほとんどが女性であり、男性高齢者の閉じこもりを防ぐための居場所づくりが必要。(健康かわごえ推進協議会) <p>《文化財・文化活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の石取祭を一か所に集めて揃い叩きする機会がほしい。(青年団) ・ 町全体で行うイベントを通じて町民の一体感を醸成し、防犯機能を高めつつ、顔見知りを作る活動を通じて地域への帰属意識・参加意識を高めることが必要。(青少年育成町民会議) <p>《生涯スポーツ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ推進員は地区によって人数に偏りがあるため、各地区に配置して地区ごとにウォーキングイベントを開催するのが有効。(川越町スポーツ推進委員協議会) ・ ボルダリングはバランスの取れた筋力を鍛えることができるため、体育館や各地区の広場などに設備の設置を。(川越町スポーツ推進委員協議会) ・ 現役世代や若者がスポーツする習慣を身に付けられるよう、ランニングコースなどのスポーツしやすい環境整備が必要。(川越町スポーツ推進委員協議会) ・ 地区対抗マラソン大会は、現コースは交通事故のリスクが高く、地区によっては選手集めが困難であり、大会の維持に向けて改善が必要。(体育協会) ・ 体育館の老朽化で特に空調設備の更新が必要。(川越町スポーツ推進委員協議会)(体育協会) ・ グラウンドの水はけの改善が必要。(体育協会) ・ 受益者負担の考えは住民には理解されにくいだが、町からの補助がなくなることも想定し、組織の自立化、行政依存体質から脱却することを考えることも必要。(川越FAGクラブ) ・ 転入者の割合が高くなっているため、スポーツを通じて交流のきっかけを作ることが必要。(川越FAGクラブ)

3. 人権尊重・共生	<p>《共生》</p> <ul style="list-style-type: none">・ ‘男性の団体’ と ‘女性の団体’ と感じることもあり、お互いに様々な視点から取り組んだ方が良い。(アイリス川越)・ 外国人が増加しており、災害時の対応のためにも交流の機会が必要。(川越町ボランティア連絡協議会)・ 国籍や民族、文化の違いを豊かさとして生かし、すべての人が互いに認め合って暮らせる地域づくりが必要。(川越町身体障害者福祉会)
-------------------	--

基本方針5 協働と信頼のまちづくり

基本施策項目	まちづくりの課題・提案等
1. 地域活動	<p>《地区活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アパートやマンションの増加で若い人が増えているが、地域活動に若い人を巻き込む方法を考えることが必要。(民生・児童委員協議会)、(青少年育成町民会議)(区長会) ・男性の民生委員を増やすことが必要であり、報奨金などを上げて関心を高めることが必要。(民生・児童委員協議会) ・身近なごみ問題を通じて住民で地域の課題を考え、自治意識を高めるとともに、新住民との会話のきっかけづくりとしていく。(ごみ対策協議会) ・10 地区にある公民館を5箇所に集約し、多様な人が利用し、交流が生まれる場にする必要がある。(ごみ対策協議会) ・地区や組では役員の高齢化で活動ができなくなりつつあるため、地区や組活動の再編を図るとともに、役員への報酬を支払うための助成金の増額が必要。(区長会) ・各団体の役員の高齢化が進んでおり、本気で担い手の世代交代を考えることが必要。(川越町老人クラブ連合会)(川越FAGクラブ)(青少年育成町民会議) ・世代交代は、新たな団体を立ち上げてもらうことも含め、中高年のメンバーがノウハウを引き継ぎ、新しい世代を見守っていくことがポイント。(アイリスかわごえ) ・転入者にも同じ川越町を担う人材として一定の役割と責任を全うしてもらうように働きかけていくことが必要。(アイリスかわごえ) <p>《協働のまちづくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町との協働の取組を町からテーマやイベントを投げかけてくれると取り組みやすい。(青年団)(朝明商工会青年部) ・協働のまちづくりに向け、町は各種団体としっかり話し合い、相互理解、信頼関係を高めて取り組んでいく姿勢が必要。(食生活改善推進協議会)(アイリスかわごえ) ・第三者委員会を立ち上げ、地域課題について話し合える場が必要。(川越町身体障害者福祉会)

基本施策項目	まちづくりの課題・提案等
2. 広報・広聴	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の声を聴いてくれる機会が必要。(青年団) ・様々な団体が活動することで世代間交流ができ、助け合いの関係も構築でき、人生を楽しむこともできる。このような活動の意義・必要性を多くの住民に伝えることが必要。(食生活改善推進協議会) ・転入者が自治会に加入しないため、地区の再編を含め、地区の考え方の見直しをすることが必要。(交通安全協会)
3. 行財政運営	<p>《広域連携》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町と連携した下水道や道路の整備。(区長会) <p>《職員資質向上》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役場職員が住民に対して毅然とした態度をとるべき。(アイリスかわごえ) ・役場職員がもっと前向きになるべき。(交通安全協会)

その他

基本施策項目	まちづくりの課題・提案等
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が川越町に愛着を持ち、住み続けられるように身近な所で仲間を作ることが必要。(青年団) ・防災対策、美しいまちづくりを進めていくためにも、今後は人づくりが重要。(区長会)